

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2190800017		
法人名	株式会社 平安		
事業所名	グループホーム ききょう		
所在地	岐阜県山県市東深瀬505番地2		
自己評価作成日	平成26年9月5日	評価結果市町村受理日	平成26年10月31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2190800017-00&amp;PrefCd=21&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2190800017-00&amp;PrefCd=21&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル
訪問調査日	平成26年9月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>利用者様がごくごく自然に生活できるようにお手伝いさせていただいています。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>利用者が、住み慣れた地域で、当たり前な生活ができるように、職員と家族の両輪で支え、笑顔の絶えないケアを実践している。そして、一日でも長く、健康で暮らすことができるように、管理者・職員が、一丸となって取り組んでいる。同時に、職員の健康管理では、腰痛対策などを徹底し、働き甲斐のある職場環境を整え、定着率を高めている。さらに、独自の試みは、運営推進会議の名称を、「グループホームききょう事業懇談会」に変更し、硬いイメージを和らげている。</p>
---

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「私たちが、入居したいと思えるようなホームにしよう」という理念を職員及び管理者が共有しています。	理念は「地域社会とのつながりを大切に、職員自身が入居したいと思うホーム」と、掲げている。日々のミーティングで振り返り、共有しながら、家庭的な雰囲気の中で、自然に生活が送れるように実践をしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の子供会が毎年訪問して下さり一緒にゲームや歌を歌ったりして楽しい時間を過ごし、今年は外で流しソーメンをしてお昼を一緒に食べました。	中学生の体験学習の場を提供し、交流を継続している。地元の子ども会の訪問があり、ゲームや流しそめんを楽しんでいる。また、隣の農家から野菜が届くなど、日頃から親しい近所づきあいをしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所までこられて相談をうけることはありませんが職員等が地元なので個人的に相談をうけたりしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	この地域の福祉の相談場所になりたいと思っています。	運営推進会議は、定期的開催をしている。事業所の現状を報告し、意見交換をしている。福祉相談窓口の設置や地元の「いきいきサロン」と、交流の提案があり、前向きに検討をしている。	運営推進会議の委員に、地元代表や地域関係者の参加を依頼している。その実現に期待をしたい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の介護保険連絡協議会に参加しています。市と福祉避難所の協定をしています。	行政主催の研修会や会議等に参加をしている。空き情報や困難事例、運営上の課題などを連絡し、連携を密に取っている。市の介護相談員が定期的に訪れ、助言を得ている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は玄関等の施錠はしてなく開放的にしてあります。身体的拘束のみならずあらゆる虐待についても常々全体会議において再確認しています。	身体拘束ゼロのケアを実践している。やむを得ない場合でも、負担のない代替策を工夫している。日中は、玄関の施錠はせず、束縛のない、自由な行動を見守っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議においても毎回確認し合っています		

岐阜県 グループホームききょう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	権利擁護推進員の研修に管理者が参加し、職員に研修内容を伝えています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前の来所時に説明し、契約時に再確認をしています。また、退所時にもケースに応じたその後の施設の選び方等や行き先の相談を受けています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の雰囲気より管理者や職員がそれとなく話し合い、出来る限り不満がストレスにならないように心がけています。	家族の訪問時や電話などで、要望等を聴いている。要望や意見を受けて、職員会議で検討し、運営に反映させている。利用者の「できることを手伝わしてほしい」などの声を受け、個々の残存機能を維持する取り組みを支援している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度の全体会議を行うにあたり職員が中心となり問題点や提案を文章にして全員で話し合っています	職員からの意見や提案は、月例会で話し合っている。生きがいを持って働ける環境の整備やストレスにならないケアの仕方など、意見を出し合い、職員が定着できるように、反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の離職は、開設8年で5名であり、開設時より職員の全体会議を食事会をかねて毎月行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護訪問員2級の養成講座を受講、受講者には、受講費の補助をおこなっています。県の講習会等には、順番に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市の介護保険事業者連絡協議会に参加し、交流を深めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者が面接時及び入所直後や徐々にいろいろと本人より話を伺うようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者が認知症の親を在宅介護した経験より、家族の話を親身に伺っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者が、面接時に本人の状態を確認し、支援に対しての話合いを行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の過去の聞取り表を、職員に開示し、性格など職員が共有するようにしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来所される都度、本人の状況説明と介護計画を確認し家族の思いを聞いて介護の方向を決めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在は中々馴染みの人や友人が訪れてくださる事が少ない(お互いの高齢化により)のですが、いつでも歓迎しています	隣接する小規模多機能型の利用者と、親しく交流をしている。馴染みの訪問者は少数ながら、継続できるように支援をしている。家族と共に、食事や墓参りなどへ出かけ、家族や知人への電話連絡などの支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	認知の度合いにより話がすれ違っていき事が多々あるので間に入りお互いを傷つけないよう、また理解し合えるようにしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要とあらばどんな事にも対応していこうと考えています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	食事や、おやつ等本人のペースに合わせて行っています。	個々の生活歴から、思いや生活習慣を把握している。また、日々の生活を通じて、気づいたことは、職員間で共有をし、意向や希望に寄り添い、その人らしい暮らし方に反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	管理者の聞取り表を職員に公開し全員が経過等を把握しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居時は、様子を見て、本人の力を見極め、出来る事をすこしずつ増やしていくようにしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議の時にケアプランと現状を考え、話し合い、本人にとってより良いプランを提供できるようにしています。	常に、個々の状態を観察し、介護記録を担当者会議で検証し、本人・家族、専門職の意見をまとめ、介護計画を作成している。状態に変化があれば、関係者で話し合い、現状に即して、柔軟に見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護日誌を作成し、日々の様子や気付き・注意点を記入し全員が共有できるようにしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の相談等に柔軟に対応しています。		

岐阜県 グループホームききょう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員の方々には、運営推進会議に参加出席していただき、共に問題点等を共有していただいています、また、理容等におきましては、地元の方に来所していただき実施しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の月2回の往診があり、協力医以外の病院を受診する場合には、協力医より診断書等を発行してもらい管理者や看護師が付添い受診しています。	入居時に、かかりつけ医は、自由に選択してもらっている。協力医による、月に2回の往診があり、受診・通院は、家族対応であるが、状況に応じて、管理者または、看護師が同行をしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師は、服薬管理等を行い利用者一人一人の服薬について主治医とも相談して支援しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院されたときは、管理者が、入院先に顔を出し出来るだけ早期に退院出来るよう担当医師と相談しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療行為が普段の生活で必要となれば病院等への移動となるが、出来るところまでは、させて頂くようにしています。終末期には、家族の同意をいただき面倒を見させていただいています。	重度化や終末期の対応方針を、家族に説明し、同意を得ている。医療行為が必要となれば、早い段階で関係者が話し合い、病院へ移動してもらうなど、自然な看取りを含め、最善の選択ができるように支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防訓練(通報・消火・避難)年2回開催し事故発生に備えて訓練しています。又、協力医療機関と連絡をとったり、救急車を要請したりし早期に対応できるように努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防訓練(通報・消火・避難)を消防の方と一緒に全職員・利用者様とともに参加し、災害対策に努めています。又、地域と災害時における福祉避難所の協定を結び、地域との協力体制の確立に努めています。	年に2回、消防署指導の下で、夜間想定を含めた火災訓練を実施している。避難誘導、器具の扱い、関係先への通報などを行っている。備蓄を確保し、行政とは、福祉避難場所の協定を結んでいる。	地震や水害について、地元との協力体制のあり方や、役割分担を定めた組織づくりに期待をしたい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ誘導やオムツ交換時もあるさまに言わずに行なっています。	常に、人生の先輩としての敬う気持ちで、言葉かけに配慮をしている。人権尊重を基本に、傾聴についても学びながら、なれあいの態度や言葉かけとならないように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	強制することは、何もなく家族との外出・外泊等も自由にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者を中心に各自のペースを把握し生活をお手伝いする事を心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理容・美容は、ホームの方へ出張していただいています。毛染め等は、事業所にておこなっています。服装等は、本人と相談しながらきめています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	日頃の団欒の中で食べたい物等を聞いて献立をたてたりして、臨機応変に対応しています。新聞の折込広告等を一緒に見て、好きな物や食べたい物を尋ねたり季節の話をしています。	利用者の好みを聞いて、調理に取り入れている。対面式の台所から、食事づくりの音や料理の匂いが、食欲を呼び起こし、また、自発的に、準備や片付けを手伝っている。職員と一緒に食べながら、郷土料理、自慢料理などの話題で会話が弾んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事形態や量等を一人一人にあわせ工夫し全量摂取を目指しています。スポーツドリンク・フルーツジュース等を毎日のみトイレの回数等も気をつけています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師の定期検診と歯科衛生士による口腔ケアを受けている利用者がみえます。口腔ケアが自分でできる方は、声かけや見守りにより毎食後及び起床後就寝前に行っています		

岐阜県 グループホームききょう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	声かけ等により、オムツの使用を少しずつ減らせるようにしています。	個々の排泄状態を把握し、タイミングよくトイレへ誘導し、自立につなげている。本人の負担感を和らげ、紙パンツから布パンツに変わるなど、成果をあげている。夜間は、必要な人のみ、おむつに替えている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操等を実施し、日々の食事バランスのとれた食事をだし、また牛乳を飲むなりして排泄を促せるようにしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一日おきの入浴を楽しみにしています。ほとんどの方が湯につかりながら「いい湯やな～」と喜んでます。	浴室に、リフトを設置し、重度者も安心して、入浴を楽しんでいる。一日おきに入浴ができ、本人の希望する時間に応じている。風呂好きの人が多く、自分のペースで、ゆったりと、満足してもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人個人の生活習慣に応じて一日を好きなように過ごしていただき、昼寝の時などは、他の邪魔が入らないようにしています。また、寝具等は、天気の良い日においては、毎日日干しを実行し清潔な寝具にて就寝していただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理は看護師が、服薬支援は職員がしています。変化が見られたら、かかりつけ医に報告し、その後のことを、相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の出来る事、好きな事を家族より聞いたり日常生活の中から見出したりして出来ることは、手伝っていただいています。洗濯物をたたんだり新聞広告等を折ったりしていただいています。DVD鑑賞を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に応じて外出し、喫茶店によったり気候に応じた散歩をしたりしています。天気の良いときは、外で体操したり歌を歌ったりしています	近隣や敷地内を、日々散歩している。広い庭で、日光浴や体操をしたり、希望者で、買い物や喫茶店、地域のイベントへ出かけている。年間行事では、季節の花見や紅葉狩りなどの外出を支援している。	



岐阜県 グループホームききょう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在は、どなたもお金の所持はありません		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は、自由に使えるようにしてあります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	BGMをながしています。季節に応じた作品を利用者様が職員と一緒に作って飾っています。	広い共同の空間と、幅広い廊下の設計が特徴である。高い天井で、開放感があり、空調も快適である。職員と共に作り上げた壁掛けや、季節の花を飾り、居心よく過ごせるように工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間は、二箇所あります。利用者の気の合うもの同士が話をしたり、テレビ番組で見たものをゆっくりみられるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム側で準備する物は、最小限とし出来るだけ使い慣れた物を持ってきていただき、使用してもらうようにしています。	居室には、木製の表札を掲げ、「私の家」として、馴染みの家具類を持ち込んでいる。伴侶の写真に、お茶を供えて、気持ちが落ち着き、居心地よく過ごしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	夜間は玄関に施錠しますが日中は開けてありますし、居室の扉にも鍵は、ありません。自由に過ごしていただきますが常に職員が様子うかがっています。建物は、平屋建てですのでバリアフリーとなっています。		